

長野市定例記者会見

令和5年11月8日(水)

市民が前方後円墳を発見！

長野市篠ノ井の円墳が、
実は前方後円墳であったことが判明しました。

長野市教育委員会文化財課
長野市埋蔵文化財センター

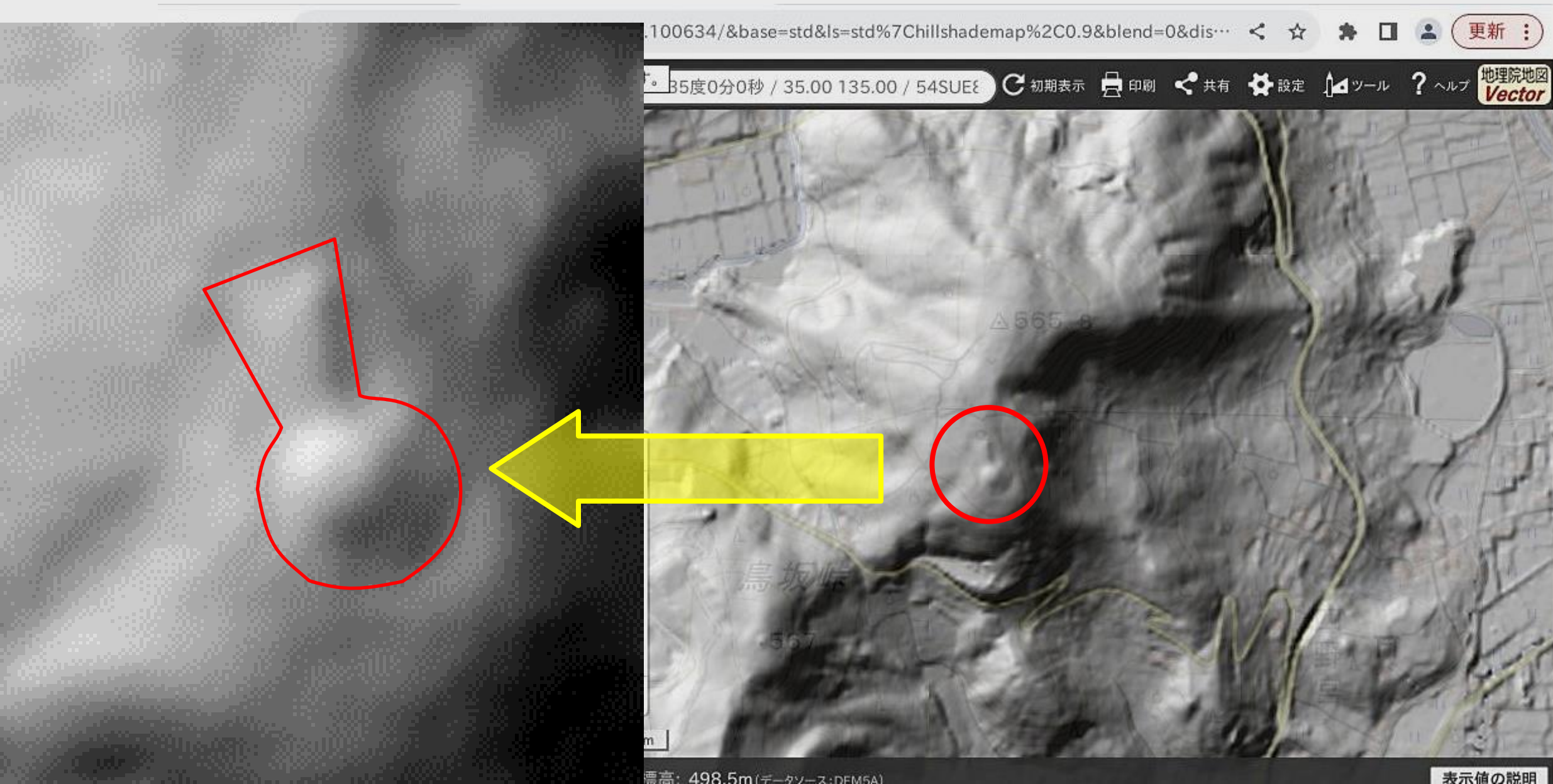
1 主旨

- ◆ 国土地理院のホームページで公開されている「陰影起伏図」を見た市民ほか一般の方からの連絡により、長野市教育委員会の学芸員及び有識者が長野市篠ノ井塩崎の現地を確認したところ、これまで直径32mの円墳とみられていた将軍山古墳が、実は全長80m級の前方後円墳であることが判明したものの

2 連絡をいただいた一般の方々

- ◆ 林部直樹さん（長野市戸隠在住）
- ◆ 宮澤和彦さん（上田市在住）

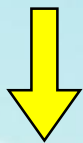
3 国土地理院HPの陰影起伏図



4 確認に至る経緯

- ① 令和3年10月2日 戸隠在住の林部直樹さんから連絡あり
- ② 令和3年10月10日 長野市の学芸員による現地確認
- ③ 令和4年10月後半頃 上田市在住の宮澤和彦さんから連絡あり
- ④ 令和5年1月4日 上田市在住の宮澤和彦さんから連絡あり
- ⑤ 令和5年3月 長野市の学芸員による現地踏査（複数回）
- ⑥ 令和5年5月 考古学研究者から「可能性高い」との意見聴取

◆ 今回確認された前方後円墳の場所



千曲川堤防から川柳・塩崎の山地を見る（東から）



後円部の全景（南西から）

後円部から前方部を見る（南から）



前方部脇から後円部を見る（北から）



5 新たに確認された前方後円墳について

- ① 古墳の名称 将軍山古墳（四之宮将軍山古墳）
- ② 古墳の場所 長野市篠ノ井塩崎の将軍山・薬師山の山頂
- ③ 土地所有者 9筆（7名）の土地に含まれる可能性あり
- ④ これまでの認識 直径32mの円墳
- ⑤ 今回確認された古墳の概要 全長80m級の前方後円墳

※ 墳丘上及び周囲に中世の旗塚らしき小塚状の高まりが数基あり

6 有識者(考古学研究者)の先生方

- ◆ 土屋 積さん (前 中野市立博物館長)
- ◆ 田中 裕さん (茨城大学人文社会科学部教授)

◆ 参考資料 長野県内の古墳の大きさランキング

順位	所在地	古墳の名称	全長	築造時期
第1位	千曲市	森将軍塚古墳	99m	4世紀中頃
第2位	長野市	川柳将軍塚古墳	93m	4世紀後半
第3位	千曲市	倉科将軍塚古墳	82m	5世紀初頭
第4位	飯田市	飯沼雲彩寺古墳	74.5m	6世紀前半
第5位	飯田市	塚越1号墳	73m	6世紀後半
第6位	飯田市	高岡1号墳	72.3m	6世紀前半
第7位	飯田市	塚原二子塚古墳	72m	5世紀後半～
第8位	長野市・千曲市	土口将軍塚古墳	68m	5世紀前半

◆ 参考資料 善光寺平南域の前方後円墳



◆ 参考資料 善光寺平南域の前方後円墳

千曲川左岸

長野市	川柳将軍塚古墳	93m
長野市	将軍山古墳	80m?
長野市	中郷神社 前方後円墳	53m
長野市	塩崎城見山砦跡 (帆立貝形前方後円墳)	45m
長野市	腰村前方後円墳 (腰村1号墳)	43m

千曲川右岸

千曲市	森将軍塚古墳	99m
千曲市	倉科将軍塚古墳	82m
長野市・ 千曲市	土口将軍塚古墳	68m
千曲市	有明山将軍塚 古墳	32m

◆ 参考資料 古墳時代の時期区分

	前期	中期	後期	終末期
年代	3世紀中頃～ 4世紀後半	4世紀後半～ 5世紀後半	6世紀	7世紀
主な形態	前方後方墳 前方後円墳	巨大な 前方後円墳	群集する 円墳	円墳 八角形墳
主な 内部構造	竪穴式石室 割竹形木棺	竪穴式石室 箱形石棺	横穴式石室	横穴式石室
代表的な 古墳	箸墓古墳 (奈良県桜井市)	大仙古墳(仁徳陵) (大阪府堺市)	藤ノ木古墳 (奈良県斑鳩町)	高松塚古墳 (奈良県明日香村)
長野盆地 の古墳	森将軍塚古墳 川柳将軍塚古墳	土口将軍塚古墳 (松代町岩野)	大室古墳群 (松代町大室)	長原古墳群 (若穂保科)

7 その他

- ◆ 古墳のある土地の多くが民地となっております。
- ◆ 取材や古墳見学目的での一時的な立ち入りについてはご内諾いただいておりますが、植生物の採取や違法な伐採・掘削、ゴミ等の廃棄、煙草を含む火気の使用について、くれぐれもお控えくださいますようお願いいたします。

長野市教育委員会文化財課 **長野市埋蔵文化財センター**

（課長） 石坂 陽子

（所長） 飯島 哲也

電話：026-284-0004 FAX：026-284-0106

電子メールアドレス：maibun@city.nagano.lg.jp